

インフルエンザにはこうやって感染します

飛沫感染 感染した人の咳、くしゃみ、つばなどとともに放出されたウイルスを健康な人が吸い込むと感染することがあります。

接触感染 感染した人がくしゃみや咳を手で押さえた後や、鼻水を手でぬぐった後に他のもの(机、ドアノブ、つり革、スイッチなど)に触ると、ウイルスが付着することがあります。その付着したウイルスに健康な人が触れた後に目、鼻、口に再び触れると、粘膜・結膜などを通じて感染することがあります。

インフルエンザの症状は

- 咳や鼻水が出る。
- 突然の高熱、全身のだるさ、頭痛、筋肉痛等がある。
- インフルエンザの症状は、新しいウイルスによって変わる可能性があるため、そのつど変更される可能性があります。

インフルエンザの予防法

●咳エチケット

- ① 咳をしている人はマスクを着用しましょう。
- ② 咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1メートル以上離れましょう。
- ③ 鼻汁、痰などを含んだティッシュは、他の人がさわらないように、フタ付きの専用のゴミ箱に捨てましょう。

●積極的に手洗いやうがいを行ってください。



台風対策

例年、夏から秋にかけて台風が襲来します。日本列島に台風が接近、上陸すると、台風の周辺では大雨や強風による大きな被害が発生します。台風による被害を軽減するためには、日頃からその対策を講じておくことが大切です。

◎台風に対する備え

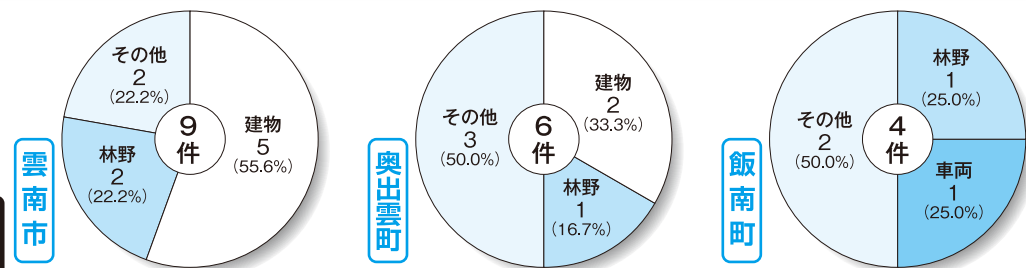
- ・常に台風に関する情報に注意し、台風接近のおそれがある場合は、あらかじめ窓や雨戸の補強をする。
- ・風で飛ばされるような物は屋内に収納するか、飛ばないように固定しておく。
- ・非常持ち出し品を備えておく。
- ・むやみな外出を控え、危険と判断される際には早めに避難する。



上半期の火災・救急・救助統計 火災は昨年同期に比べ 8件増加

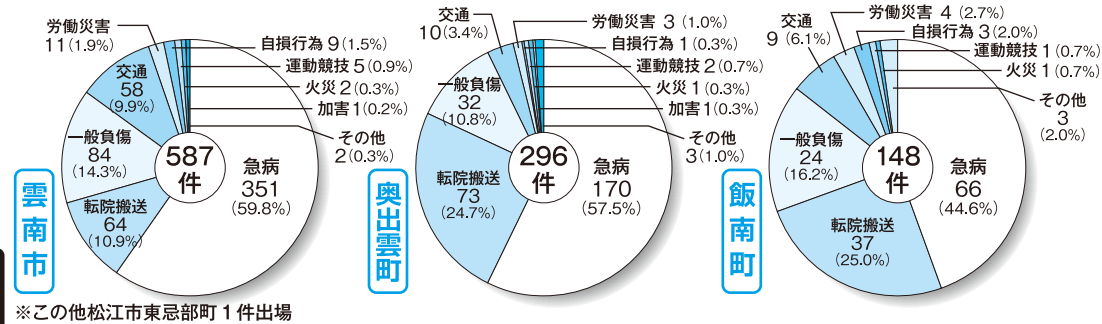
火災出動

19件



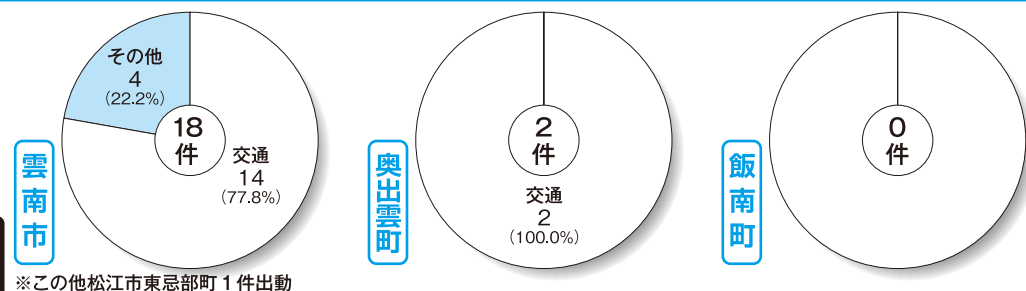
救急出場

1032件



救助出動

21件



今年に入り火災が多発しており、既に19件発生しています。そのうち7件は建物火災で、尊い命、多くの財産が失われています。

原因別では、草焼きが8件で最も多く、いずれの火災もちょっとした不注意が原因で火災となったものです。

火災が発生しないために、次のことに注意して火を取り扱しましょう。

◎草焼きを行うときの厳守事項

- 草焼きなどを行う時は、一旦刈り取り少しづつ焼く。
- 水バケツを3個以上は準備し、絶対にその場を離れない。
- 予期せぬ場所に燃え広がらないよう、周囲に空地を持たせる。
- 山際では草焼きをしない。

◎生活の中での注意事項

- 電気器具のプラグはしっかり奥まで差し込み、たこ足配線はやめましょう。
- コンロを使用している時は、絶対にその場を離れないようにし、その場を離れる時は、コンロの火は必ず消しましょう。



「消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子」